

躍る大捜査線

点 P の居場所をつきとめろ！

宝さがしみたいや～
点 P は どこにある？



点 P についてのベクトルの関係式が与えられたときに、点 P が平面上あるいは空間内のどこに存在するの
かを考えることはとても重要な問題です。基本となるのはこれまでに何度も登場した次の 2 つの Point
です。これらを手がかりに点 P の居場所をつきとめよう。

Point

辺 AB を $m : n$ に内分する点 P のベクトル表示

$$\vec{OP} = \frac{n\vec{OA} + m\vec{OB}}{m+n}$$

これはもう
常識でしょう

Point

$\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$ のとき、
 $s+t=1 \iff$ 点 P は直線 AB 上にある。

$\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB} + u\vec{OC}$ のとき、
 $s+t+u=1 \iff$ 点 P は平面 ABC 上にある。

これもよく登場するよ

例題 1 $\triangle ABC$ と点 P に対して、 $5\vec{AP} + 4\vec{BP} + 3\vec{CP} = \vec{0}$ のとき、点 P の位置を調べ、さらに三
角形 $\triangle PBC$, $\triangle PCA$, $\triangle PAB$ の面積比 $\triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB$ を求めよ。

考え方 まずは、始点を $\triangle ABC$ の頂点の 1 つで統一します (今回は A でやってみます)。点 P の位置が
決まれば面積比は簡単です。これがポイント!!

解 $5\vec{AP} + 4\vec{BP} + 3\vec{CP} = \vec{0}$ より、
 $5\vec{AP} + 4(\vec{AP} - \vec{AB}) + 3(\vec{AP} - \vec{AC}) = \vec{0}$
 $12\vec{AP} = 4\vec{AB} + 3\vec{AC}$
 $\vec{AP} = \frac{4\vec{AB} + 3\vec{AC}}{12}$
 このままでは
何もわかりません
 $= \frac{7}{12} \cdot \frac{4\vec{AB} + 3\vec{AC}}{7}$
 \vec{AD} を $\frac{7}{12}$ 倍に
縮めたものが
 \vec{AP} です
 よって、点 P は辺 BC を 3 : 4 に内分する点を D と
するとき、線分 AD を 7 : 5 に内分する点である。

ポイント!!
 このようにムリヤリに
"7" を持ち出して
変形します。
 中の \vec{AB}, \vec{AC} の
係数の和が 1 に
なっています

点 P 発見♡
ヤッホーイ

$\triangle ABC = S$ とおくと、
 $\triangle PBC = \frac{5}{12}S$
 $\triangle PCA = S \times \frac{4}{7} \times \frac{7}{12} = \frac{4}{12}S$
 $\triangle PAB = S \times \frac{3}{7} \times \frac{7}{12} = \frac{3}{12}S$
 $\therefore \triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB$
 $= \frac{5}{12}S : \frac{4}{12}S : \frac{3}{12}S = 5 : 4 : 3$

このへんは
わかりやすいね?
中学校レベル?
ドキ

注 $\vec{AD} = \frac{4\vec{AB} + 3\vec{AC}}{7} = \frac{4\vec{AB} + 3\vec{AC}}{3+4}$ と
解釈します。このことから、辺 BC を 3 : 4 に内分
する点が D であることがわかります。

注 面積比が元の関係式の係数比に一致してい
ます。これって偶然かな?
 だめら
ムリヤリに
変形したのはね
 ビーセ
必然って 言いたんやぞ

例題 2 四面体 ABCD と点 P に対して、 $\vec{AP} + 3\vec{BP} + 4\vec{CP} + 8\vec{DP} = \vec{0}$ のとき、点 P の位置を調べ、さらに四面体 PBCD, PCDA, PDAB, PABC の体積比 PBCD : PCDA : PDAB : PABC を求めよ。

考え方 やっぱり、まずは、始点を四面体 ABCD の頂点の 1 つで統一します (今回は A でやってみます)。今回は空間内での作業になりますが、基本的な手法は平面の場合と全く同じです。特定の面や断面に注目して考えることが最大のポイント。体積比は (底面積比) × (高さ比) で計算します。底面積比は **例題 1** と全く同じ方法で求めることができるでしょう。

解 $\vec{AP} + 3\vec{BP} + 4\vec{CP} + 8\vec{DP} = \vec{0}$ より、
 $\vec{AP} + 3(\vec{AP} - \vec{AB}) + 4(\vec{AP} - \vec{AC}) + 8(\vec{AP} - \vec{AD}) = \vec{0}$
 $16\vec{AP} = 3\vec{AB} + 4\vec{AC} + 8\vec{AD}$

$\vec{AP} = \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC} + 8\vec{AD}}{16}$

このままでは何もわかりません

このようにムリヤリに "15" を持ち出して変形します。ここでの $\vec{AB}, \vec{AC}, \vec{AD}$ の係数の和が 1 に近づきます

$= \frac{15}{16} \cdot \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC} + 8\vec{AD}}{15}$
 $= \frac{15}{16} \cdot \frac{7 \times \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC}}{7} + 8\vec{AD}}{15}$

同様な変形を 2 回やるわけですよ

7474

$= \frac{15}{16} \cdot \frac{7\vec{AE} + 8\vec{AD}}{15}$
 $= \frac{15}{16} \vec{AF}$

$3\vec{AB} + 4\vec{AC}$ に注目してムリヤリに "7" を持ち出して変形。 \vec{AB} と \vec{AC} の係数の和が 1 に近づきます

$\left(\frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC}}{7} = \vec{AE}, \quad \frac{7\vec{AE} + 8\vec{AD}}{15} = \vec{AF} \text{ とおく} \right)$

よって、点 P は辺 BC を 4 : 3 に内分する点を E とし、さらに線分 ED を 8 : 7 に内分する点を F とするとき、線分 AF を 15 : 1 に内分する点である。

注 $\vec{AE} = \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC}}{7} = \frac{3\vec{AB} + 4\vec{AC}}{4+3}$ と解釈します。このことから、辺 BC を 4 : 3 に内分する点が E であることがわかります。

$\vec{AF} = \frac{7\vec{AE} + 8\vec{AD}}{15} = \frac{7\vec{AE} + 8\vec{AD}}{8+7}$ と解釈します。このことから、辺 ED を 8 : 7 に内分する点が F であることがわかります。

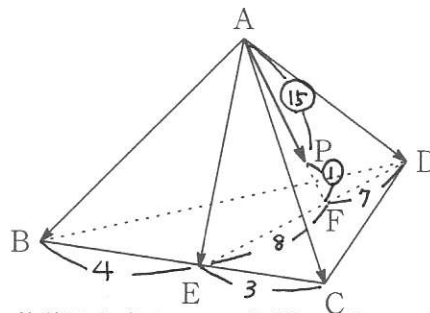
★ 平面 ABC に注目して \vec{AE} を考え、さらに断面 AED に注目して \vec{AF} を考えたわけですよ

⇒ この最後の 2 行が とても大切な考え方ですよ

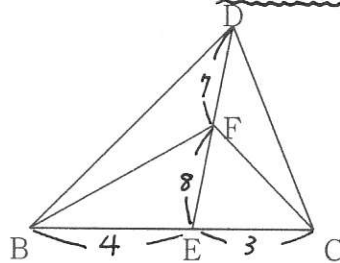
点 P 発見♡



ちと見つかったー



体積比を求める、 $\triangle BCD$ を底面に考える。



まず、底面の面積比 $\triangle FCD : \triangle FDB : \triangle FBC$ を求める。

$\triangle BCD = S$ とおくと、
 $\triangle FBC = \frac{8}{15}S$
 $\triangle FDB = S \times \frac{4}{7} \times \frac{7}{15} = \frac{4}{15}S$
 $\triangle FCD = S \times \frac{3}{7} \times \frac{7}{15} = \frac{3}{15}S$
 $\therefore \triangle FCD : \triangle FDB : \triangle FBC = \frac{3}{15}S : \frac{4}{15}S : \frac{8}{15}S = 3 : 4 : 8$

このへんはさきの例題 1 と全く同じですよ

OK

次に、四面体 ABCD の体積を V とおくと、

$PBCD = \frac{1}{16}V$
 $PCDA = V \times \frac{3}{15} \times \frac{15}{16} = \frac{3}{16}V$
 $PDAB = V \times \frac{4}{15} \times \frac{15}{16} = \frac{4}{16}V$
 $PABC = V \times \frac{8}{15} \times \frac{15}{16} = \frac{8}{16}V$
 $\therefore PBCD : PCDA : PDAB : PABC = \frac{1}{16}V : \frac{3}{16}V : \frac{4}{16}V : \frac{8}{16}V = 1 : 3 : 4 : 8$

注 体積比が元の関係式の係数比に一致しています。これって偶然かな？

だから一必然なんですよ!!